

正しく使おう! インターネット  
**事例に学ぶ情報モラル**

指導の手引き



# 本教材をお使いになる先生方へ

現代社会においてインターネットはあらゆる社会活動に不可欠なツールであり、表現活動や知識習得の場として大人・子どもにかかわらず幅広く利用されています。スマートフォンからの利用が急増している昨今は、いつでも、どこでも手軽にインターネットに接続できる生活環境にあるといえます。

しかし、その手軽さゆえ、そして情報モラルの未熟さゆえ、不適切な発言や悪ふざけをインターネット上に公開してしまい、トラブルや炎上事件に発展するケースが相次いでいます。

炎上事件はマスメディアが取り上げる騒動に広がることもしばしばで、近年、企業や大学もインターネット上の出来事・動きを注視しています。不適切な発言をした社員や学生・生徒が解雇や停学、入学取り消しなどに処される事例も後を絶ちません。

このような事情を背景に、情報モラルを効果的に学習していただけるようにとの思いから、このたびパワーポイント教材「正しく使おう！ インターネット 事例に学ぶ情報モラル」を制作しました。本教材は、実際に起こった炎上事件をもとにインターネット上の発言やふるまいについて視覚的に学ぶことができるもので、指導の手引き(本書)、生徒用ワークブックがセットになっています。

生徒の将来に禍根を残す炎上事件を防ぎ、インターネットを安全に使えるよう、情報モラル学習の一助となれば幸いです。

## Contents

本教材をお使いになる先生方へ .....	2
活用にあたって .....	4
パワーポイントの構成と各スライドの内容 .....	6
導入【問いかけ】(スライド2~3) .....	6
事例紹介(スライド4~8) .....	7
炎上事件は「なぜ、どのように」起こるのか(スライド9~12) .....	8
炎上事件が人生に与える影響(スライド13~16) .....	10
生徒自身による整理と、解説(スライド17~22) .....	12
インターネットを正しく安全に使うために(スライド23~29) .....	14
情報モラルチェック 問題と解説 .....	16
パワーポイント教材を活用した授業展開例 .....	18

# 活用にあたって

本教材はパワーポイントファイル、指導の手引き(本書)、生徒用ワークブックから構成されています。カリキュラム、授業の形態に合わせてご活用ください。

■**パワーポイント** ※教材をすでにダウンロードされた方は、本作業は不要です。

授業で投影してお使いいただけるパワーポイントファイル(スライド数：全30、本編28)です。以下の方法でダウンロードしてください。

## パワーポイントファイルのダウンロード方法

- 1 ブラウザのアドレス入力画面に、『正しく使おう！インターネット 事例に学ぶ情報モラル 指導の手引き』p.4に記載のURLを入力します。

🔍 検索または Web アドレスを入力

- 2 右のような画面が表示されたら、  
**ユーザー名：GREEmoral2020**  
**パスワード：r4JqH3**  
を入力し、OKボタンを押してください。ZIP形式のファイルダウンロードが始まります。

ログイン画面

ユーザー名

パスワード

このサイトへの接続ではプライバシーが保護されません

OK

キャンセル

※使用ブラウザによって表示画面が多少異なります

- 3 フォルダ内に「パワーポイントファイル」のほか、「指導者用手引き」と「生徒用ワークブック」のPDFファイルが入っています。パワーポイントファイルを開いてお使いください。

パワーポイント



GREE\_information\_morals.ppt

指導者用手引き



GREE\_guidance\_for\_teachers.pdf

生徒用ワークブック



GREE\_workbook\_for\_students.pdf

ご使用のPCにパワーポイントがインストールされていない場合は、Microsoftのホームページより「PowerPoint Viewer」をダウンロードのうえお使いください。

## ■指導の手引き(本書)

本書は、授業展開の手引きとして作成しました。

授業時の説明を想定し、パワーポイントのスライドごとに説明文を記しています。この説明文は、パワーポイントファイルの「ノート」欄にも入っています。

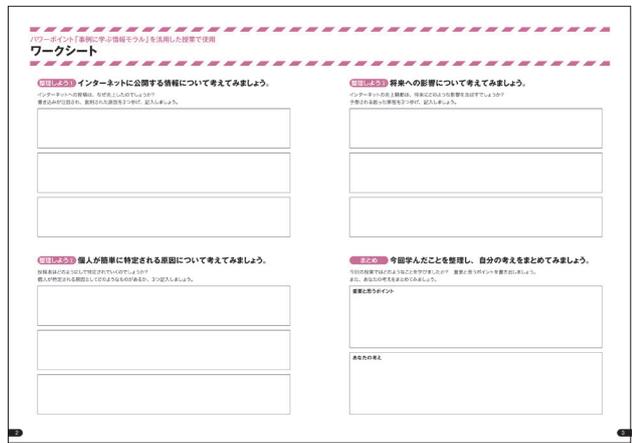
参考として、巻末に授業展開例を掲載しています。



## ■生徒用ワークブック

授業時に生徒が使うワークシートとして、また、授業後の復習用教材として作成しました。

ワークシートのページには直接書き込むことができます。また、生徒が情報モラルをセルフチェックするページも設けました。復習用ページでは、パワーポイント教材の内容をほぼすべておさらいできます。ワークブックを読むだけでも、教材の内容を一通り学習することができます。



# パワーポイントの構成と各スライドの内容

正しく使おう! インターネット

## 事例に学ぶ 情報モラル



本教材は、パワーポイント（本編28スライド）より構成され、内容により大きく6つのカテゴリーに分けられます。

実際の授業では、パワーポイントを順に「スライドショー」で再生しながら、各スライドについて解説をしていきます。

ここでは、全体構成と各スライドの内容についてご説明します。

## 導入【問いかけ】（スライド2～3）

導入として、まず日常生活において「ありえない」2つの行動を見せ、生徒に「やってもいいか」と問いかけます。この導入は結末の「インターネットの世界も現実世界と同じである」という部分につながっていきます。

### 2 どう思いますか？

まずは、この写真を見てください。ここは1日数十万人が行き交う交差点です。この交差点で、このように（クリック!）携帯の電話番号が書かれたボードを持って、1時間でよいので立っていてほしいのですが、誰か「やってもいいよ」という人はいますか？

**スライドの動き** クリックするとカードを持った人物が出現し、カードの部分が拡大します。



### 3 どう思いますか？

次に、この写真です。学校の廊下で、こんなふう（クリック!）に友達が悪口が書かれたボードを持ちながら歩く。これならやってもいいよ、という人はいますか？

いませんね。なぜやりたくないのでしょうか？（生徒に聞いてみる）

でも、実は、すでにみなさんの中にも、インターネット上でこれと同じようなことをやっ  
てしまっている人がいるかもしれないのです。それは一体どういう意味なのかを考えながら、今日はインターネットでの「ふるまい」について学んでいきたいと思  
います。

**スライドの動き** クリックするとカードを掲げた人物が出現し、カードの部分が拡大  
します。



## ○ 事例紹介 (スライド4～8)

スライド4・5では、位置情報を含む画像を無意識にインターネット上に公開する危険性について紹介しています。スライド6～8は、未成年者による問題行動の画像を公開した事例です。マスコミなどでも頻繁に大きく取り上げられ、近年社会問題化しています。

### 4 事例 無意識に位置情報を発信している

今や幅広い年代の人が、自分の部屋や自宅から見える景色、その日作った弁当などをスマートフォンなどで撮影し、何気なくインターネット上に公開しています。しかしGPS機能を持つ機器で撮影された画像には「位置情報」が含まれている場合があることに注意しなければなりません。

スライドの動き クリックで投稿内容→投稿例の順に表示します。



### 5 事例 無意識に位置情報を発信している

「位置情報」を持つ画像をインターネットで公開することによって、無意識に自宅住所や居場所を不特定多数に知らせている場合があります。また、写真に写り込んでいる風景や建物、陽ざしの向きなどから場所が特定される場合もあります。その結果、個人情報をインターネットに掲載されたり、最悪の場合はストーカー被害にあってしまう可能性もあります。

スライドの動き 地図上に場所を示すピンが立ち、文字が表示されます。



### 6 事例 問題行動や法律違反の写真を公開 ～発端～

未成年が飲酒や喫煙をしている写真を自らインターネットに公開する事例が数多く見られます。また、アルバイト店員などによる非常識なふるまいの写真や、嘘の通報で緊急車両を出動させた写真の掲載、犯罪予告の投稿など、自らの問題行動や法律違反を遊び半分でインターネットに公開する事例が相次いでおり、問題となっています。

スライドの動き 問題行動の投稿画面が順に表示されます。

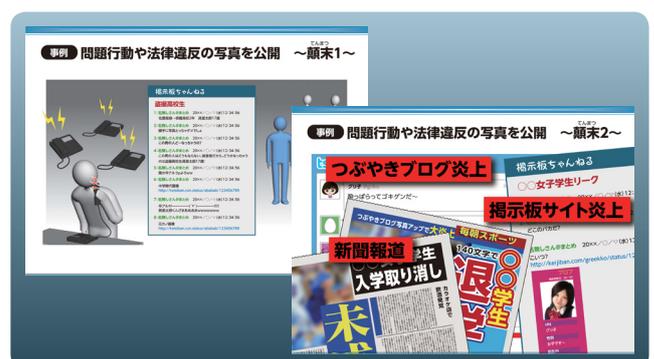


### 7・8 事例 問題行動や法律違反の写真を公開 ～顛末～

こうした投稿は厳しく批判され、掲示板サイトなどが炎上し、投稿者の個人情報が特定され、さらされていきます。マスコミに報道され、自宅や学校などに電話が殺到し、本人は友達をなくす、進学や就職ができなくなるなど、実生活にもその影響が及びます。

スライドの動き 7: さまざまな顛末が順に表示されます。

8: 掲示板や新聞が順に表示されます。



## ○ 炎上事件は「なぜ、どのように」起こるのか (スライド9~12)

ツイッターなどの投稿サイトは、炎上事件の標的を見つけ出す格好の場となっています。スライド9~11では、炎上事件がなぜ、どのように起こり、大きくなっていくのを見ていきます。スライド12では、個人が特定されていく理由と流れを考えます。

### 9 誰も見ていないから…大丈夫?

炎上事件の発端となる投稿をした人も、「自分の書き込みなんて誰も見ていないから大丈夫」と軽く考えていたのかもしれませんが。

確かに、個人の書き込みや画像が常に世の中の注目を浴び、都度チェックされているわけではありません。しかし、大勢の人たちが1つの書き込みに気づくことなく通り過ぎていくなかで、たった1人が気づけば、そこから炎上は始まります。

「誰も見ていないから大丈夫」というのは思い込み過ぎません。インターネットに情報を発信している誰もが、炎上事件の当事者になる可能性があるのです。

**スライドの動き** クリックにより画面が変化していき、1人が書き込みに気づくまでが表示されます。



### 10 「友達のみ公開」にしても…

では、あらかじめ設定されている「友達」だけに限定して公開できる投稿であれば、知らない人に見られることもないので安心できるでしょうか。

そんなことはありません。「友達限定公開」であっても、投稿を見た人がスクリーンショット(画像)を保存すれば、書き込みや写真をそのままブログに掲載したり、別のサイトに公開することが可能です。

「友達」の行動までは誰も制限できません。そして、一度拡がり始めた情報は、誰にも止めることができません。スクリーンショットは、あらゆるサイトに一気に拡散していきます。

**スライドの動き** 投稿が1人の友達に公開され、クリックで一気に拡散します。最後に文字が表示されます。



## 11 個人が特定される

問題となる投稿が見つげ出され、批判のコメントが増えていくと、投稿者本人の個人情報が探し出され、まもなく氏名や学校名、住所などが特定されていきます。

なぜこのように身元が特定されるのでしょうか。

それは、過去にインターネットに発信した情報が原因です。

**スライドの動き** 学校名や氏名などの個人情報が1つずつ表示されます。



## 12 なぜ特定されたのか?

学校や住所が推測できる書き込み、プロフィール、ニックネーム、友人と撮ったブライクラ、「〇〇に合格」「〇〇に推薦」「〇〇に内定」など進路の情報、そのほか個人の特定につながるさまざまな書き込みが大勢の人たちによって次々と探し出され、スクリーンショットで保存されて拡散していきます。

個人名や学校名そのものの書き込みがなくても、投稿画像を解析したり、日常的な書き込みの断片から個人を特定することは可能です。

また、出身学校の同窓生など本人の身近な人が卒業アルバムなどの写真を提供するなどして、友人関係や私生活までもが、パズルのピースを1つずつはめこんでいくようにさらされていくのです。

**スライドの動き** 過去の書き込みなどが次々と表示されます。



## 13 炎上事件が人生に与える影響 (スライド13~16)

スライド13~16では、炎上事件をきっかけに投稿者の生活や人生にどのようなことが起こるのかを見ていきます。「一度起こった炎上事件はインターネット上に半永久に残り続け、後々までの人生に影響を与える」ということをしっかり認識させることが重要です。

### 13 インターネットの情報は、消えない

一度インターネットで拡散した情報は、絶対に消すことはできません。騒ぎになった後、慌てて書き込みや画像を削除しても、書き込みや画像はスクリーンショットで保存され、共有されます。

それらは次から次へとコピーされ、拡散し、インターネット上に残り続けます。そのため、何年経っても簡単に探し出すことができます。こうなってしまうからの対処方法は、ありません。

スライドの動き 文字列が上から下へと流れます。



### 14 過去の書き込みが未来に影響?

インターネット上に残り続ける情報は、未来にも大きな影響を及ぼします。友人関係が壊れる、推薦が取り消されて進学できなくなる、就職先から内定が取り消される、結婚の障害になるなど、人生が変わってしまう可能性があります。

学校や企業は、入試や採用試験の際、応募者の過去の書き込みについて調査しています。過去の炎上事件が、将来にわたって自分を苦しめることになるのです。

スライドの動き 4つの影響例が順に表示されます。

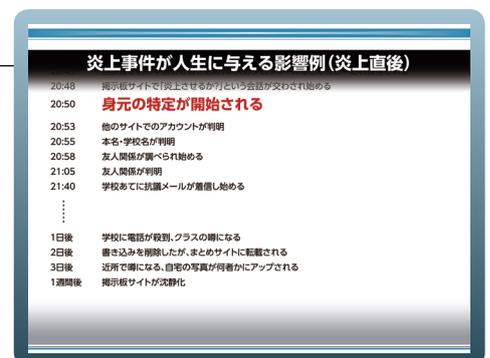


### 15 炎上事件が人生に与える影響例 (炎上直後)

炎上事件が人生に与える影響例について、ある生徒の事例を見ていきます。

- 投稿後、30分も経たないうちに拡散が始まります。
- その後一気に炎上し、約1時間後には身元の設定が始まります。
- 学校で大騒ぎになり、しばらくは外にも出られない日々が続きました。
- 一週間ほどすると騒ぎも収まり、日々の生活が戻り始めました。

スライドの動き 文字列が下から上に流れます。

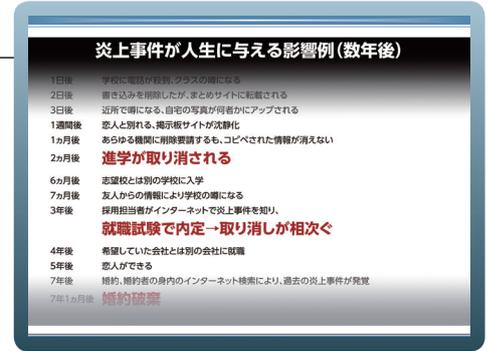


## 16 炎上事件が人生に与える影響例（数年後）

- 拡散した投稿や個人情報を消すことができず、推薦入学が決まっていた学校に事件が発覚。推薦は取り消され、志望校とは別の学校に進学することに。
- 就職活動時、採用担当者に炎上事件をチェックされ、内定が取り消しに。希望していた会社とは別の会社に就職することになりました。
- 社会人となって数年後、恋人と婚約。しかし、婚約者の身内に過去の炎上事件が見つかり、破談になりました。

こうした事例を聞いて大げさだと感じる人がいるかもしれませんが、いずれも実際に起きたことです。

**スライドの動き** 文字列が1行ずつ表示されます。



## ○ 生徒自身による整理と、解説 (スライド17~22)

スライド17、19、21では、ワークシートを使い、生徒自身に学習のポイントをまとめさせ、発表させます。  
スライド18、20、22では、生徒が考えた内容について教師がおさらいしながら解説します。

### 17 整理しよう① 「なぜ炎上したのか」

なぜ投稿は炎上したのでしょうか。

炎上事件の問題点や原因を整理し、ワークシートにまとめましょう。

#### 【炎上の原因例】

- ほかの人が「おかしい」「問題だ」と思うような書き込みや写真を公開した。
- 法律に違反することをしている。
- 「友人以外には拡がらない」「誰も見ていない」と思っていた。

反社会的な行為や法律違反、差別的な発言、誹謗中傷、悪ふざけなどは、炎上の原因となります。

スライドの動き クリックすると「答え」が1項目ずつ表示されます。

※答えの欄は、自由に編集することが可能です。

整理しよう① 「なぜ炎上したのか」

1. ほかの人が「おかしい」「問題だ」と思う書き込みをした
2. 法律に反することをした
3. 「友人以外には拡がらない」「誰も見ていない」と思って書き込んだ

### 18 加害者にも被害者にもなる

炎上の原因となるような投稿は、人を傷つけたり、周りや社会に迷惑をかけたりします。この意味において、投稿者は「加害者」です。

不適切な写真や、許可なく他人の写真を公開した事例は、威力業務妨害罪や名誉毀損、肖像権の侵害にあたる可能性があります。また、デマがもとで警察や消防などが出動すれば公務執行妨害罪になる可能性があります。

しかし同時に、サイトが炎上し、個人情報がさらされ、進学や就職などに影響が出るなど人生を変えられてしまう「被害者」にもなります。

スライドの動き クリックにより画面が3段階に変化します。

加害者にも被害者にもなる

炎上し、さらし者になり、人生を変えられ被害者にもなる

### 19 整理しよう② 「個人の特定」

投稿者の身元はどのようにして特定されていくのでしょうか。

個人が特定された原因を挙げ、ワークシートにまとめましょう。

#### 【個人特定の動き】

- 過去の書き込みや画像が探し出され、友人関係や住所などが特定される。
- 投稿者の「知り合い」が卒業アルバムなどの情報を提供する。
- アカウント、プロフィールが探し出され、保存され、さらされる。

このようにしてインターネット上に拡散した情報は、消えることはありません。

スライドの動き クリックすると「答え」が1項目ずつ表示されます。

※答えの欄は、自由に編集することが可能です。

整理しよう② 「個人の特定」

1. 過去の書き込みが探し出され、友人関係や住所などが特定される
2. 「知り合い」が卒業アルバムなどの情報を提供する
3. アカウント、プロフィールが探し出され、保存され、さらされ、消えることはない

## 20 なぜ特定されたのか？

インターネット上では、次のような情報から個人が簡単に特定されていきます。

- 氏名、学校名、住所や電話番号など個人情報そのもの
- 過去の書き込みの断片
- 写真(顔だけでなく、風景や建物などからも)
- 画像の持つ位置情報
- 身近な「知り合い」による情報提供

悪意を持って投稿者を懲らしめてやろうとする人たちは、これらの情報を直ちに保存し、拡散させてしまいます。

**スライドの動き** 過去の書き込みなどが次々と表示されます(スライド12再掲)。



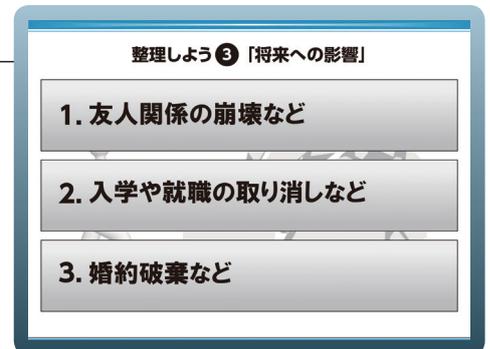
## 21 整理しよう③ 「将来への影響」

炎上事件が及ぼす将来への影響について考え、ワークシートにまとめましょう。

### 【将来への影響例】

- 友人関係が壊れる。
- 学校を停学・退学処分になる。
- 進学や就職が取り消しになる。
- 結婚の障害になる可能性がある。

**スライドの動き** クリックすると「答え」が1項目ずつ表示されます。  
※答えの欄は、自由に編集することが可能です。

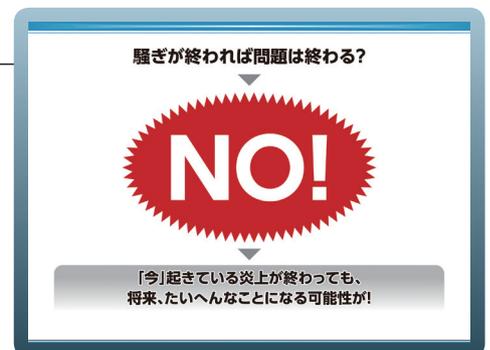


## 22 騒ぎが終われば問題は終わる？

炎上そのものは、時間が経つにつれ次第に下火になり、沈静化していきます。では、それで問題は終わるのでしょうか。

答えは「NO」です。今起きている炎上が終わっても、情報はインターネット上に残り続けます。そして、「進学」「就職」「結婚」などの大切な場面で過去の炎上事件が調べられ、人生が変わってしまったという人が実際にいます。炎上事件は生涯にわたって足かせになる可能性があるのです。

**スライドの動き** 文字が上から順に表示されます。



## ○ インターネットを正しく安全に使うために (スライド23～29)

スライド23～25は、インターネットを正しく安全に使うためにおさえておきたい知識と学習のまとめです。スライド26では、インターネット上に公開できる情報がどのようなものなのかを感覚的に理解させます。スライド27～29では、生徒自身が自分の情報モラルをチェックできます。

### 23 日常生活とインターネットの境目はない

実生活とインターネットは別のものだと考えている人がいるかもしれません。また、個人の日記帳のような感覚でブログや投稿サイトなどに書き込みをしている人がいるかもしれません。

しかし、インターネットは不特定多数の人が利用する「公共の場」であり、実生活となんら変わりません。

インターネットの世界でも、日常生活と同様に、法律を守ることや常識、マナー、人に対する思いやりが求められます。そして過ちを犯せば、大きなペナルティーが待っています。

**スライドの動き** 画面が順に変化していきます。



### 24 インターネットを正しく安全に使うために

日常生活とインターネットの境目はありません。つまり、日常生活でやらないこと、やってはいけないことは、インターネットでも絶対にやってはいけないことです。

日常生活でやらないようなことを誤ってインターネットでやってしまわないよう、正しい知識を持ち、適正なふるまいを心がけましょう。

**スライドの動き** 画面が順に変化していきます。



### 25 インターネットは道具です

炎上事件の事例から、インターネットは危ないもの・怖いものであると思う人がいるかもしれません。ですがインターネットは、現代社会に不可欠な道具であり、インターネットやデジタル機器と無縁に生きることはほぼ不可能です。

インターネットは生活に必要な道具であり、正しく使えば人生をより豊かにすることができます。しかし、使い方を誤れば、炎上事件の顛末のような禍根を残すことになります。インターネットが役に立つ道具となるか、凶器となるかは、本人次第、使い方次第です。危ないから、怖いから、見ない、利用しないとといった「間違っただけの怖がり方」ではなく、学習した内容をしっかり理解し、「正しく怖がる」ことが大切です。

**スライドの動き** クリックにより画面が変化します。



## 26 インターネットにのせられるのは玄関に貼れるものだけ!

自宅の玄関に紙を貼り、何か書き込むとしたら?

最初の写真のような書き込みであれば問題ないでしょう。しかし、次の写真のような書き込みなら、どうでしょうか?

あなたはこんな書き込みを玄関に貼ることができますか?

炎上事件の原因となる書き込みを投稿することは、カンニングをしたことを書いた紙を堂々と自宅玄関に貼るのと同じ行為です。

玄関に貼れない情報は、インターネットにはのせないこと。逆に、インターネットにのせてもいいのは、玄関に貼ることができる情報だけです。

普段の書き込みや投稿した写真について、問題がなかったかどうか振り返って考えてみましょう。そして、今後インターネットにのせてよいかどうか迷うような場面があったら、この写真を思い出してください。自宅玄関に貼れないようなものをインターネットで公開すれば、あっという間に人生も「炎上」してしまうでしょう。

**スライドの動き** クリックにより画面が変わります。



## 27 ~ 29 あなたの情報モラルをチェックしてみよう

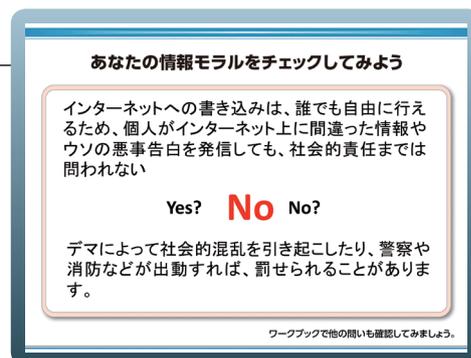
これまで学んできたことをおさらいしながら、あなたの情報モラルをチェックしてみましょう。

「情報モラル」とは、情報社会で適正な活動を行うためのもとなる考え方や態度のことです。

質問に「Yes」または「No」のどちらかで答えてください。

**スライドの動き** 質問が表示され、クリックにより答えと解説が表示されます。

※質問と答えは自由に編集できます。



※p.14に、生徒用ワークブックに掲載されている問題と解説の一覧を掲載しています。

## 情報モラルチェック 問題と解説

①

**インターネットへの書き込みは、誰でも自由に行えるため、個人がインターネット上に間違った情報やウソの悪事告白を発信しても、社会的責任までは問われない**

→ No

デマによって社会的混乱を引き起こしたり、警察や消防が出動するなどした場合には、罰せられることがあります。

②

**一般の個人によるインターネットへの書き込みは、芸能人などと比べて、社会から注目される可能性が低い**

→ No

一般の個人による書き込みであっても、モラルに反する内容であれば、高い確率で社会から注目を集め、炎上事件に発展します。

③

**インターネットで友達などに限定して公開している情報が、不特定多数の人に閲覧される場合がある**

→ Yes

友達から友達へと拡散し、不特定多数の人が閲覧することがあります。つぶやきブログでも、友達に公開を限定した書き込みによる炎上事件がよく見られます。

④

**インターネット上の「炎上」は、犯罪行為や法律に反するふるまいのみによって発生する**

→ No

犯罪行為や法律に反するふるまいだけでなく、単にモラルに反する行為であっても炎上事件につながります。

⑤

**掲示板やブログなどで問題が起こった場合、自分で書き込みを削除したり、掲載サイトへ削除依頼をするなど、迅速に対処することで問題は沈静化する**

→ No

削除しても、ページのコピーやスクリーンショット・検索サイトのキャッシュ(一時保存ページ)などがインターネット上に残りますので、問題の早期解決にはつながりません。



⑥

**インターネットでは、たとえ匿名の投稿でも投稿者個人を特定されることがある**

→ Yes

プロフィールサイトや過去の投稿情報、画像などから個人を特定されるケースが後を絶ちません。

⑦

**自分のブログ全体を閉鎖すれば、書き込んだ内容はインターネット上から消滅する**

→ No

ページのコピーやスクリーンショット・検索サイトのキャッシュ(一時保存ページ)などにより、インターネット上に公開された情報が完全に消滅することはありません。

⑧

**インターネットカフェからの書き込みでは、書き込んだ人物を特定できない**

→ No

情報発信の場所にかかわらず、個人を特定することは可能です。

⑨

**インターネットの世界では、実生活と同じマナーやふるまいが必要だ**

→ Yes

実生活でやってはいけないことは、インターネット上でも絶対にやってはいけないことです。

# パワーポイント教材を活用した授業展開例

本教材を活用した授業展開例をご紹介します。

## ■授業時間：1時間

【評価の例】大変すばらしい：4、おおむね満足：3、もう少し：2、改善が必要：1

時間	スライド番号	学習活動	学習指導	評価
20分	2・3	写真を見て、自分に置き換えて考える。	写真の行動について、どう思うか考えさせる。 ※「やってみてもいいか」と質問し、答えさせる。	マナーやモラルについて関心を持っているか。
	4～8	炎上事件の事例を知る。	炎上事件が身近なものであることを理解させる。	炎上事件とはどのようなものかを知ったか。
	9～12	炎上事件はなぜ・どのように起こるのかを知る。	驚くべきスピードで情報が拡散し、個人が特定されることを理解させる。	炎上事件はなぜ・どのように起こるかを理解したか。
	13～16	炎上事件が人生にどのような影響を与えるのかを知る。	インターネット上に残り続ける情報の怖さを理解させる。	炎上事件が人生に与える影響について知ったか。
20分	17・18	炎上事件の原因を整理し、ワークシートに記入する。	炎上事件の被害者は加害者でもあることを再確認する。 ※生徒に発表させる。	炎上の原因と結果について理解したか。
	19・20	インターネット上で個人がどのように特定されていくのかを整理し、ワークシートに記入する。	インターネット上では個人はたやすく特定されることを再確認する。 ※生徒に発表させる。	個人がどのように特定されるか理解できたか。
	21・22	炎上事件が将来に及ぼす影響について整理し、ワークシートに記入する。	炎上騒ぎが終わっても、問題は終わらないことを再確認する。 ※生徒に発表させる。	炎上が人生に与える影響について、自分に置き換えて考えることができたか。
10分	23・24	インターネットの世界は日常世界と何ら変わらないことを確認する。	日常生活でやらないことはインターネットでも絶対にやらないということを理解させ、普段行っている投稿や書き込みの内容を振り返り、危険につながる要素がないか考えさせる。	インターネットの特性、インターネットを正しく安全に使うためにはどうすればよいかを理解できたか。
	25・26	インターネットは「道具」であり、人生に有用なものとなるか害となるかは使い方次第であることを知る。		
	27～29	情報モラルについての質問に答える。	学習内容を理解し、正しく答えられるかをセルフチェックさせる。	インターネットのマナーやモラルについて正しく理解しているか。



---

**グリー株式会社**

東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー

<http://corp.gree.net/jp/ja/>